

平成25年度

事業計画書

社会福祉法人 手稲ロータス会

目 次

社会福祉法人 手稲ロータス会

はじめに	P 1
社会福祉法人「手稲ロータス会」の理念	P 2
重点推進項目	P 3
職員内部研修計画	P 4～P 6
介護老人福祉施設 手稲ロータス	P 7
各種会議・委員会	P 8
年間行事予定	P 8
年間行事予算	P 9
手稲ロータス(介護予防)通所介護事業所 標準型・認知症対応型	P10
年間会議予定(標準型)	P11
年間行事予算(標準型)	P11
年間会議予定(認知症対応型)	P12
年間行事予算(認知症対応型)	P12
介護老人保健施設 手稲あんじゅ	P13
各種会議・委員会	P14
年間行事予定	P14
年間行事予算	P15
手稲あんじゅ(介護予防)通所リハビリテーション事業所	P16
年間会議予定	P17
年間行事予算	P17
手稲あんじゅ(介護予防)訪問リハビリテーション事業所	P18
手稲あんじゅ指定居宅介護支援事業所	P19
手稲あんじゅ(介護予防)訪問介護事業所	P20
手稲あんじゅ居宅介護事業所・札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置	P21
年間会議予定	P22
介護予防普及啓発事業予定・予算	P22
(介護予防)認知症対応型共同生活介護 手稲ゆうゆう	P23
(介護予防)認知症対応型通所介護 手稲ゆうゆう	P23
年間会議予定	P24
年間行事予算	P24
介護老人保健施設 あんじゅ音更	P25
各種会議・委員会	P26
年間行事予定	P26
年間行事予算	P27
あんじゅ音更(介護予防)通所リハビリテーション事業所	P28
年間会議予定	P29
年間行事予算	P29
あんじゅ音更(介護予防)訪問リハビリテーション事業所	P30
あんじゅ音更指定居宅介護支援事業所	P31
介護老人福祉施設 ロータス音更	P32
各種会議・委員会	P33
年間行事予定	P33
年間行事予算	P34
ロータス音更(介護予防)通所介護事業所 標準型・認知症対応型	P35
年間会議予定(標準型)	P36
年間行事予算(標準型)	P36
年間会議予定(認知症対応型)	P37
年間行事予算(認知症対応型)	P37

社会福祉法人 手稲ロータス会

はじめに

昭和63年に社会福祉法人「手稲ロータス会」が発足してから25年が経過しました。その間、高齢化・少子化が世界に類を見ない速さで進展し、介護保険制度が始まるなど、日本の福祉制度は大きく変わりました。そして今なお、変化の中にあります。更に、東日本大震災以来、家族や地域社会のあり方も問われています。

こうした時代の変化に応えるため、「手稲ロータス会」は今一度、法人設立の志を新たにし、四半世紀の歩みを踏まえつつ、これから法人が歩むべき方向を示す「理念」と「基本方針」を新たに定めることとしました。この「理念」と「基本方針」に立ってロータス（蓮）の名に恥じず、介護事業を担う事業者として、入所・利用される方々やそのご家族、地域の方々及び職員それぞれが『笑顔』になれる介護事業の展開を目指していきます。

社会福祉法人「手稲ロータス会」の理念

「手稲ロータス会」は4つの笑顔大切にします

ご利用者様の笑顔、ご家族様の笑顔、地域の皆様の笑顔、そして私たち職員の笑顔です

清浄な花を咲かせる「ロータス（蓮）」の名にふさわしい、明るい笑顔とこまやかな思いやりに満ちた介護事業を目指します

基本方針

○ご利用者様の笑顔のために

- ・一人ひとりの尊厳を大切にし、地域の中で自立した生活を目指します
- ・安全で安心できる良好な生活療養環境の実現を目指します

○ご家族様の笑顔のために

- ・ご家族様とご利用者様のコミュニケーションが保たれ、交流が深まるように努めます
- ・ご家族様の介護負担の軽減が図られるように支援します

○地域の皆様の笑顔のために

- ・介護予防の知識や介護への意識の普及啓発に努めます
- ・地域の皆様との交流、ボランティアの受入、施設開放等に努め地域と共に歩みます
- ・地域の関係機関、事業所と連携協働し、地域と一体になったケアを担います
- ・環境に配慮した（環境にやさしい）施設経営を目指します

○職員の笑顔のために

- ・意欲を持って、安心して働ける職場環境を目指します
- ・職員それぞれの職務の専門性向上のために支援します

【法人本部重点推進項目】

1. 組織体制の見直し

組織の基礎固めを図る。組織の再編やそれに応じた職員処遇のあり方を見直す等、法人組織全体に渡って堅固な組織づくりを目指す。

【指標・評価方法】

組織図の再編や職位別職務基準表の策定に合わせて役職に応じた職員処遇等、規程関係を含めた全般的な見直しを行い実施していく。

2. 計画的な施設整備の推進

入所者・利用者に安心して利用していただくために、施設設備の保守整備について中長期的な計画を策定して進めていく。

【指標・評価方法】

計画的な施設整備を進めるために資金計画を含めて立案する。

3. 人材育成と職場の環境づくり

「福祉は人なり」と言われるように、人材育成に力を注ぐ。意欲向上に繋がる職員研修や職場の活性化を図る人事交流を進め、職員一人ひとりが能力を発揮し、活躍できる環境づくりを目指す。

【指標・評価方法】

それぞれの事業所において、職種、職位、経験を考慮した研修が進められるように研修情報（派遣研修参加状況・施設内研修実施状況等）を取りまとめ周知する。また、法人全体でのレベルアップを図るため、札幌・音更間を含めた施設横断的な人事異動を行い活性化を図る。

4. 情報公開の推進

開かれた法人経営となるために、ホームページを活用した情報公開を進める。

【指標・評価方法】

定期的に（月1回程度）ホームページの更新を行い、決算公示をはじめ、各事業における活動内容等を広くわかり易く発信していく。

職員内部研修計画

(札幌合同)

実施月	研 修 内 容	講 師 等
4月	新人採用職員研修	各担当職員
4月	ICFの基本的な考え方について	外部講師
5月	ICFを活用したケアプラン作成について	外部講師
6月	職員交換研修	各担当部署
7月	地域に求められる事業所とは	外部講師
8月	職員交換研修	各担当部署
9月	外部事業所研修	外部事業所
10月	職員交換研修	各担当部署
11月	認知症ケアについて	外部講師
12月	職員交換研修	各担当部署
1月	接遇研修	外部講師
2月	職員交換研修	各担当部署
3月	効果的な機能訓練について	外部講師

(手稲ロータス)

実施月	研 修 内 容	講 師 等
4月	救急救命法について	看護主任
5月	非常災害時の対応について	主任相談員
6月	感染症及び食中毒の予防と蔓延防止について	管理栄養士
7月	痰の吸引及び胃ろうの対応について	看護主任等
8月	事故防止について(第1回)	介護主任
9月	高齢者虐待及び身体拘束廃止について	ユニットリーダー
10月	個人情報(プライバシー)の保護について	主任相談員
11月	看取り介護(ターミナルケア)について	看護主任
12月	認知症高齢者について	介護主任
1月	褥瘡予防及び対策について	褥瘡防止委員会
2月	事故防止について(第2回)	事故防止委員会
3月	職業倫理、法令遵守(コンプライアンス)について	主任相談員
その他	外部研修報告会	研修報告

(手稲あんじゅ)

実施月	研 修 内 容	講 師 等
4月	倫理・コンプライアンスについて	相談員
5月	リスクマネジメントについて①	外部講師
6月	感染症予防(食中毒)について	管理栄養士
7月	リスクマネジメントについて②	外部講師
8月	事故防止対策について①	事故防止検討委員会
9月	非常災害時の対応について	外部講師
10月	感染症(インフルエンザ等)予防について	感染症対策委員会
11月	介護技術(排せつケア)について	外部講師
12月	身体拘束・高齢者虐待について	身体拘束廃止委員会
1月	褥瘡予防について	褥瘡予防対策委員会
2月	事故防止対策について②	外部講師
3月	介護保険制度について	相談員

職員内部研修計画

(手稲あんじゅ居宅)

実施月	研 修 内 容	講 師 等
4月	法令・通知について	介護支援専門員
5月	障害者総合支援法について	介護支援専門員
6月	ケアマネジメント過程における倫理と基本姿勢について	介護支援専門員
7月	相談面接技術・アセスメント・ニーズの把握について	介護支援専門員
8月	加算算定要件及び根拠について	介護支援専門員
9月	サービス担当者会議について（ファシリテーション）	介護支援専門員
10月	支援経過記録について	介護支援専門員
11月	ケアプランについて	介護支援専門員
12月	地域との関わりについて	介護支援専門員
1月	緊急対応・救命救急法について	介護支援専門員
2月	介護予防サービス支援計画書について	介護支援専門員
3月	今年度のまとめと来年度の取り組みについて	介護支援専門員

(手稲あんじゅ訪介)

実施月	研 修 内 容	講 師 等
4月	個人情報保護と倫理について	サービス提供責任者
5月	介護保険制度及び障害者総合支援法について	サービス提供責任者
6月	感染症及び食中毒予防について	サービス提供責任者
7月	緊急時対応及び救命救急法について	サービス提供責任者
8月	身体介助（清拭・入浴）について	サービス提供責任者
9月	生活援助と緊急対応について	サービス提供責任者
10月	接遇とプライバシー保護について	サービス提供責任者
11月	感染症予防と記録の書き方について	サービス提供責任者
12月	身体介助（排泄）について	サービス提供責任者
1月	事故防止対策について	サービス提供責任者
2月	認知症及び認知症ケアについて	サービス提供責任者
3月	今年度のまとめ・自己評価と来年度の取り組みについて	サービス提供責任者

(手稲ゆうゆう)

実施月	研 修 内 容	講 師 等
4月	事業計画書の説明と実施方法	管理者
5月	事故防止について（H24年度統計と原因の分析と再発防止）	事故対策委員
6月	感染症及び食中毒の予防について	管理栄養士
7月	緊急時対応及び救急救命法について（AED実技含む）	看護師
8月	ICFとケアプランについて	計画作成担当者
9月	プライバシーと個人情報保護について	管理者
10月	身体的拘束廃止について	管理者
11月	ノロウィルス発症時の対応（実技含む）	看護師
12月	褥瘡の予防について	計画作成担当者
1月	法令遵守（コンプライアンス）について	管理者
2月	職業倫理について（求められる介護職とは）	管理者
3月	高齢者虐待防止について	管理者

職員内部研修計画

(あんじゅ音更・あんじゅ音更居宅)

実施月	研修内容	講師等
4月	接遇について	事務長・接遇委員会
5月	事故防止対策について(救命)	医療事故防止委員会
6月	マッサージ	ルッコラ
7月	感染予防について	感染委員会
8月	身体拘束について	身体拘束廃止委員会
9月	リフレッシュ	外部講師
10月	感染予防について	感染委員会
11月	事故防止対策について	医療事故防止委員会
12月	外部研修報告	研修報告者
1月	レクリエーション(各フロアより)	各部署
2月	身体拘束について	身体拘束廃止委員会
3月	認知症について(学習療法)	認知症ケア専門士等

(ロータス音更)

実施月	研修内容	講師等
4月	リーダー研修	介護主任・副主任
	正職員研修	事務長・介護主任・副主任
5月	リハビリ・レクリエーション方法について	作業療法士
8月	事故防止対策について①	事故防止対策委員会
9月	感染症予防対策について①	感染症予防対策委員会
10月	緊急時対応について(AED使用方法含む救命救急など)	外部講師・看護師
11月	つがやす歯科による研修	つがやす歯科(予定)
12月	身体拘束廃止について	身体拘束廃止委員会
1月	認知症について	介護主任・副主任
2月	感染症予防対策について②	感染症予防対策委員会
3月	事故防止対策について②	事故防止対策委員会

介護老人福祉施設 手稲ロータス

入所者が笑顔で過ごせる環境づくりを行うために入所者と職員との関わりを多くもち、生活の中に「ゆとり」を持てるようにします。また、職員一人ひとりが専門職としてのプロ意識を持ち、統一したサービスの提供をしていきます。

1. 事故防止に対する意識の向上

事故に対する的確な対応策と確実な再評価の実施を行い、事故発生に対する意識を高め、事故件数の減少に努める。

【指標・評価方法】

1ヵ月毎に事故発生件数の集計を行い、前年度との発生件数を比較する。上半期は、事故発生の集計に基づき、事故報告・ヒヤリハット報告区分のガイドラインを作成する。下半期には、事故原因に対する検討と再評価を確実に実施していくため、各報告書の見直しを行う。

2. 業務体制の確立

無理のない業務体制となる様に、大幅な業務変更を実施していく。変更後は業務内容を定期的に再確認し、円滑な業務の実施を目指していく。

【指標・評価方法】

月1回の業務会議において、業務内容の評価と改善の検討を行い、職員配置等の検討も含め、業務内容を固めていく。

3. オムツ外しへの取組み

排泄サイクルの把握による個別対応を検討していく。排泄方法や使用物品（オムツ類）の検討等を行い、トイレでの排泄回数増加とオムツ類の使用数減少を目指していく。

【指標・評価方法】

1ヵ月6名を目標に細分化した排泄チェック表を使用し、排泄パターンを調査する。翌月に調査結果を集計し、排泄サイクルの個別評価を行う。同時に、排泄方法の変更や使用物品の検討も行う。

4. 具体的で実行性のあるケアプラン立案

新たにケアプラン研修会を実施し、アセスメント・モニタリングの重要性認識とケアプランの必要性、プラン立案の流れを再度確認していく。

【指標・評価方法】

ケアプラン研修会を3ヵ月に1回実施する。

日々の経過記録がモニタリングに反映出来ているか、アセスメント・モニタリング評価表を新たに作成し、随時カンファレンス開催時に評価を行う。

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会 議	合同会議	第2・最終月曜日 13:30～
	職員会議	毎月第4週 平日18:00～
	処遇会議	毎月第3週 平日18:00～
	主任会議	毎月第3週 平日15:00～
	業務会議	毎月2回
	医務会議	毎月1回
	サービス担当者会議	随時
	入所検討委員会	4月・7月・10月・1月に実施
委員会	感染症対策委員会	毎月第3週 平日15:00～
	医療的ケア対策推進委員会	3ヵ月毎1回 平日15:00～
	褥瘡予防委員会	毎月第4週 平日18:00～
	身体拘束廃止委員会	毎月第4週 平日18:00～
	事故防止検討委員会	毎月第4週 平日18:00～
	食事・水分・環境・入浴・排泄委員会	毎月1回
	研修委員会	毎月1回
	給食委員会	毎月第3火曜日
その他	給食懇談会	毎月第2金曜日

年間行事予定

月	日	行 事	内 容
5月	10	母の日 端午の節句	女性入所者の母の日を祝う。 職員による相撲大会。
	15	お花見	桜の鑑賞を楽しむ。
6月	1	開設記念祝賀会	開設記念を入所者と家族を招いて祝う。
	14	父の日	男性入所者の父の日を祝う。
	5・19・26	バスハイク	札幌圏内の公園や施設への外出と外食を楽しむ。
7月	27	手稲ロータス会夏まつり	ロータス会合同実施。出店やイベントを催す。
8月	8	盂蘭盆会	合同慰霊祭。
	14	納涼盆踊り大会	夕刻に入所者全員で盆踊りを楽しむ。
9月	14	敬老祝賀会	家族も参加し長寿を祝う。
10月	2・9・16・23・30	紅葉狩り	紅葉の鑑賞と外食を楽しむ。
11月	20	大運動会	綱引き、玉入れ等紅白に分かれて実施。
12月	6	イルミネーション見学	夜の大通公園を楽しむ。
	11	もちつき大会	杵と臼でもちつきをし、食事をする。
	25	クリスマス会	クリスマスツリー等で飾りをし、夕食を楽しむ。
	27	忘年会	親睦を図り一年の労をねぎらう。
1月	1～3	お正月お楽しみ会	かるた、福笑い、百人一首を楽しむ。
2月	3	節分(豆まき)・節分会	干支歳の利用者による豆まき等。
	5・7	雪まつり見学	大通公園で大雪像を観賞する。
3月	3	桃の節句(ひなまつり)	雛壇を飾り、お寿司を楽しむ。

【備考】

- ※「外食デー」4月・8月・10月に小グループで実施。
- ※「外出デー」奇数月に小グループで実施。
- ※「誕生会」毎月その月に生まれた方を祝う。
- ※「ホームスナック」偶数月は夕食時月1回実施、奇数月は午後1回実施。
- ※「書道クラブ」毎月第1水曜日に実施。
- ※「華道クラブ」毎月第3土曜日に実施。
- ※「俳句クラブ」毎月第1木曜日に実施。
- ※「ティータイム」毎週水曜日に実施。
- ※「ひだまりの会・すみれ会・山喫茶」小グループでレクリエーション等の実施。
- ※「避難訓練」年2回(6/27 10:00～・11/28 10:00～)実施。

年間行事予算

(単位:円)

月	行事名	実施日	実施内容	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
5月	端午の節句	10日	母の日メッセージ・カーネーション	カーネーション 300 × 65 人 往復葉書代 100 × 60 人		19,500 6,000	
	母の日	10日	菖蒲湯 職員による相撲トーナメントの実施	菖蒲 3,000 飾付材料代、景品等 15,000		3,000 15,000	43,500
6月	開設24周年記念	1日	開設24周年記念行事 祝賀会の実施	入所者食事代(弁当・ケーキ) 340 × 75 人 家族食事代(弁当・ケーキ) 400 × 60 人 職員・ボランティア食事代 900 × 50 人 飲物代他 24,000 往復葉書代 100 × 70 人 記念品代 300 × 200 人 飾り付け・材料代等 30,000	25,500 24,000 45,000 24,000 7,000 60,000 30,000		
	父の日	14日	父の日メッセージ・バラの花(黄バラ)	バラの花(黄バラ) 300 × 15 人 往復葉書代 100 × 10 人		4,500 1,000	
	バスハイク	5・19・26日	大仮装カラオケ大会 札幌市内の公園や施設から選択 昼食は外食	飾り付け・材料代等 3,000 食事代職員分 1,000 × 15 人	15,000	3,000	239,000
7月	ロータス会夏祭り	27日	手稲あんじゅと合同で実施	模擬店材料代・飲物代 250,000 職員・ボランティア食事代 500 × 100 人 往復葉書代 100 × 70 人 飾り付け・材料代等 40,000	250,000 50,000	7,000 40,000	347,000
8月	盂蘭盆会	8日 14日	盂蘭盆会(合同慰霊祭) 納涼盆踊り大会	お供え等 5,000 運営費 10,000 装飾代 10,000		5,000 10,000 10,000	25,000
9月	敬老祝賀会	14日	敬老週間で、日頃の作品を展示 敬老祝賀会の実施 (感謝状・米寿・喜寿・白寿・百歳以上の方)	入所者食事代(弁当・ケーキ) 340 × 75 人 家族食事代(弁当・ケーキ) 400 × 60 人 職員・ボランティア食事代 900 × 50 人 飲物代他 24,000 往復葉書代 100 × 70 人 展示材料代 10,000 記念品代(入所者、家族、職員) 570 × 200 人他 記念品代(喜寿) 2,000 × 1 人 記念品代(米寿) 2,000 × 0 人 記念品代(白寿) 2,000 × 2 人 記念品代(100歳以上) 10,000 × 6 人 記念品代(90歳以上) 2,000 × 37 人 予備費 10,000	25,500 24,000 45,000 24,000 7,000 10,000 114,000 2,000 0 4,000 60,000 74,000 10,000		399,500
10月	紅葉狩り	2・9・16 23・30日	秋の楽しいひと時を過ごしていただく 昼食は外食、小グループで4回実施	食事代職員分 1,000 × 25 人	25,000		25,000
11月	大運動会	20日	食堂にて紅白チーム対抗戦 (玉入れ、綱引き等)	飾付材料・競技備品等 15,000 景品代 20,000		15,000 20,000	35,000
12月	もちつき大会 クリスマス会	11日 25日	杵と臼を使って餅つきを行う クリスマスツリー等飾りをし、夕食を楽しんでもらう サンタクロースがプレゼントを配る	もち米、甘酒等 60,000 プレゼント代 1,000 × 75 人 クリスマスカード 200 × 75 人 クリスマスケーキ 250 × 75 人 飾付材料代等 30,000	60,000 18,750	75,000 15,000 30,000	
	忘年会	27日	利用者、家族、職員の親睦を図ると共に、 1年の労をねぎらう	入所者食事代(弁当・ケーキ) 900 × 75 人 家族食事代(弁当・ケーキ) 400 × 60 人 職員・ボランティア食事代 900 × 50 人 飲物代他 24,000 往復葉書代 100 × 70 人 ゲーム景品・備品・菓子代 50,000 予備費 10,000	67,500 24,000 45,000 24,000 7,000 50,000 10,000		426,250
1月	正月	1～3	かるた・福笑い・百人一首を行う	ゲーム材料代 5,000		5,000	5,000
2月	節分豆まき 節分会 雪祭り見学	3日 5・7日	干支歳の入所者による豆まき等 ご祈祷、お参り 大通公園の雪像見学、昼食は外食	豆・備品代等 10,000 お供え等 5,000 食事代職員分 1,000 × 5 人		10,000 5,000 5,000	20,000
3月	桃の節句	3日	雛壇を飾り、桃・菜の花を添える (お寿司屋に来ていただく)	飾り付け材料等 10,000 お好み寿司 入所者分 200 × 65 人 職員分 500 × 20 人	13,000 10,000	10,000	33,000
通年	外食デー 誕生会 レクリエーション費 華道クラブ 俳句クラブ ティータイム ひだまりの会 すみれ会 山喫茶	4・8月 毎月 随時 毎月 毎月 毎週水曜 毎月 毎月 毎月	小グループで実施 月ごとの誕生者を行事食で祝う 個性や意欲を達成する 知的意欲の高揚を図る 茶菓子を用意しコーヒーやお茶を楽しむ ADL状況別に小グループに分かれ、家庭的な簡単な作業やレクリエーション等を行い、精神の安定を図る	職員食事代 1,000 × 25 人 プレゼント代 1,000 × 70 人 諸経費 5,000 × 12 回 材料費 20,000 × 12 回 本代 1,200 × 12 回 飲み物・茶菓子 5,000 × 12 回 材料費 1,500 × 12 回 材料費 1,500 × 12 回 材料費 1,500 × 12 回	25,000 70,000 60,000 240,000 14,400 60,000 18,000 18,000 18,000		25,000 70,000 60,000 240,000 14,400 60,000 18,000 18,000 18,000
小計					864,250	1,257,400	2,121,650
消費税					43,213	62,870	106,083
合計					907,463	1,320,270	2,227,733

手稲ロータス（介護予防）通所介護事業所 手稲ロータス（介護予防）認知症対応型通所介護事業所

介護保険制度改正から1年が経過し、「デイサービスの役割」が問われています。今後、利用者・地域に必要とされる事業所となることができるように、根拠に基づいた質の高いサービス提供に努めていきます。

〔標準型・認知症対応型共通事項〕

手稲ロータスデイサービスとしての特色作り ～心を引きつけるために～

利用者一人ひとりが目的意識を持ち、また、利用する日が待ち遠しくなるような事業所作りを目指す。

【指標・評価方法】

個別ケア・ニーズに添ったサービスの提供と、その記録の実施を基盤として、事業所としての特色作りを毎月の会議にて検討する。半年内に検討結果をまとめ、次年度の具体的実施に備えて職員間の情報共有に努め、事業所の方向性について長期的な目標を持つことを目指す。そのために、担当者を決め職員間の役割分担を明確にし、確実に進行する。

〔標準型〕

魅力的なプログラムの提供 ～意味のある活動の提供～

マンネリ化を防止し、笑顔に加えて機能訓練も兼ねた効果的で魅力的なプログラムを実施する。

【指標・評価方法】

新しいレクリエーションメニューを毎月実施すると共に、行事終了後の満足度調査を実施（年4回）することで満足度の把握を行う。また、「たんぽぽ便り」にレクリエーションの効果について記載し参加者の意識付けを図る。

〔認知症対応型〕

認知症ケアの充実 ～個別ケアの実現を目指して～

認知症対応型の特性を生かし、利用者が笑って過ごせる環境整備とサービス提供を目指す。

【指標・評価方法】

利用者の現状の力とニーズを日常の関わりから把握し、アセスメントシートに整理することで、ケアプランへ反映し会議にて職員間の周知を図る。また、介護者支援のために、家族へ認知症介護に関する機関誌（隔月）を発行し、在宅介護に役立てる情報提供を行う。

年間会議予定

月	会議予定(開催日)	対象職員
通年	デイサービス会議(月1回開催)	全職員
	ケースカンファレンス・モニタリング(随時開催)	全職員
	主任会議(月1回開催)	デイサービス主任、生活相談員
	職員会議(月1回開催)	全職員
	サービス担当者会議(随時出席)	生活相談員他

年間行事予算

(単位:円)

月	行事名	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	誕生会				
5月	誕生会 お花見 母の日	花代 300 × 75 人		22,500	22,500
6月	誕生会 父の日 開設記念日	花代 利用者食事代(当日) 記念品代 300 × 25 人 340 × 28 人 300 × 100 人	9,520	7,500 30,000	47,020
7月	誕生会 夏祭り 外出行事	職員食事代 ボランティア食事代 1,000 × 24 人 1,000 × 12 人	24,000 12,000		36,000
8月	誕生会 野外食	材料費(全体) 18,000 × 1	18,000		18,000
9月	誕生会 敬老祝賀会	利用者食事代(当日) 記念品代(表彰者) 記念品代 340 × 28 人 1,000 × 7 人 570 × 100 人	9,520	7,000 57,000	73,520
10月	誕生会 外出行事	職員食事代 ボランティア食事代 1,000 × 24 人 1,000 × 12 人	24,000 12,000		36,000
11月	誕生会 おやつ作り 運動会	材料費 開催費(全体) 100 × 144 人 25,000 × 1	14,400	25,000	39,400
12月	誕生会 もちつき大会 クリスマス会 忘年会	プレゼント代 利用者食事代(おやつ代含む) 1,000 × 100 人 200 × 144 人	28,800	100,000	128,800
1月	誕生会 お正月				
2月	誕生会 節分(豆まき) おやつ作り	豆・備品代 材料費 3,000 × 1 100 × 144 人	3,000 14,400		17,400
3月	誕生会 桃の節句 お好み寿司	利用者食事代 職員食事代 200 × 28 人 1,000 × 7 人	5,600 7,000		12,600
通年	レクリエーション制作教材費 装飾費(行事等) 誕生会(プレゼント代) 誕生会(おやつ代)	6,000 × 12 月 12,000 × 1 1,000 × 100 人 100 × 1,728 人(6歳)		72,000 12,000 100,000 172,800	356,800
小計			182,240	605,800	788,040
消費税			9,112	30,290	39,402
合計			191,352	636,090	827,442

年 間 会 議 予 定

月	会 議 予 定 (開 催 日)	対 象 職 員
通年	デイサービス会議(月1回開催)	全職員
	ケースカンファレンス・モニタリング(随時開催)	全職員
	主任会議(月1回開催)	デイサービス主任、生活相談員
	職員会議(月1回開催)	全職員
	サービス担当者会議(随時出席)	生活相談員他

年 間 行 事 予 算

(単位:円)

月	行 事 名	費 用 内 訳	給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	誕生会				
5月	誕生会 お花見 母の日	花代 300 × 20 人		6,000	6,000
6月	誕生会 父の日 開設記念日	花代 300 × 10 人 利用者食事代(当日) 340 × 12 人 記念品代 300 × 30 人	4,080	3,000 9,000	16,080
7月	誕生会 夏祭り 外出行事	職員食事代 1,000 × 12 人 ボランティア食事代 1,000 × 6 人	12,000 6,000		18,000
8月	誕生会 野外食	材料費(全体) 7,000 × 1	7,000		7,000
9月	誕生会 敬老祝賀会	利用者食事代(当日) 340 × 12 人 記念品代(表彰者) 1,000 × 2 人 記念品代 570 × 30 人	4,080	2,000 17,100	23,180
10月	誕生会 外出行事	職員食事代 1,000 × 12 人 ボランティア食事代 1,000 × 6 人	12,000 6,000		18,000
11月	誕生会 おやつ作り 運動会	材料費 100 × 66 人 開催費(全体) 8,000 × 1	6,600	8,000	14,600
12月	誕生会 もちつき大会 クリスマス会 忘年会	プレゼント代 1,000 × 30 人 利用者食事代(おやつ代含む) 200 × 66 人	13,200	30,000	43,200
1月	誕生会 お正月				
2月	誕生会 節分(豆まき) おやつ作り	豆・備品代 1,000 × 1 材料費 100 × 66 人	1,000 6,600		7,600
3月	誕生会 桃の節句 お好み寿司	利用者食事代 200 × 12 人 職員食事代 1,000 × 4 人	2,400 4,000		6,400
通年	レクリエーション制作教材費 装飾費(行事等) 誕生会(プレゼント代) 誕生会(おやつ代)	3,000 × 12 月 8,000 × 1 1,000 × 30 人 100 × 792 人(延)		36,000 8,000 30,000 79,200	153,200
小 計			84,960	228,300	313,260
消 費 税			4,248	11,415	15,663
合 計			89,208	239,715	328,923

介護老人保健施設 手稲あんじゅ

各専門職がより専門性を発揮して、相互に連携を図り、多職種協働の取り組みの推進に努めます。また、介護老人保健施設としての本来の機能である在宅復帰の可能性を探りながら自立に向けた支援を強化していきます。

更には、地域との密着性を重視し、地域に開かれた施設運営を行うと共に、入所者が施設生活の中で生きがいを持てるよう、質の高いサービスの提供を目指していきます。

1. 自己評価及び事業評価システムの構築

職員一人ひとりが自身の提供するサービスを自己評価した結果、それを次のステップに繋げていくことができる環境を構築していく。さらには、自分の所属する組織や事業への理解を深めていく。

【指標・評価方法】

マンネリ化の是非を問う機会を設け、新しい世代の高齢者の多様なニーズに応えられる施設づくりを目指すため、平成25年度は、年に2回以上実施できるよう、自己評価及び事業評価システムを構築していく。さらには、職員が達成感や効果を実感して、よりよい施設づくりのために、積極的に発言・考察・行動できる環境を作っていく。

2. 職員教育体制の構築

サービス提供に可能な限り、職員差が生じないように、職員教育に対する方針等を定めていく。

【指標・評価方法】

より一層、施設内外への研修参加率を高めていく。又、教育方針や教育課程等を手順化していく。

3. 情報共有システムの見直し

情報の発信及び受信範囲を拡大させていく。さらには、情報の正確性を高めていくために、情報共有システムの見直しを図っていく。

【指標・評価方法】

職員会議をはじめとした会議のあり方等を見直していく。又、個人情報の保護や公開等に係る詳細な手順を規程に沿って文書等で明確化していく。

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会 議	合同会議	第2・最終月曜日 13:30～
	職員会議	必要に応じて随時開催
	主任会議	毎週木曜日 17:00～
	介護職員会議	毎月第4金曜日 18:00～
	看護職員会議	奇数月第3水曜日 17:30～
	入所(退所)判定会議	随時
	サービス担当者会議	随時
委員会	感染症予防対策委員会	第2水曜日 17:00～
	褥瘡予防対策委員会	第1火曜日 17:00～
	身体拘束廃止委員会	第3水曜日 17:00～
	事故防止検討委員会	第1水曜日 17:00～
	広報委員会	第2火曜日 17:00～
	教育訓練委員会	第3火曜日 17:00～
	食事サービス向上委員会	第2金曜日 17:00～
その他	入所者懇談会	年2回(4・10月)第2金曜日 11:00～
	給食懇談会	毎月第2金曜日(4月・10月を除く)

年間行事予定

月	実施日	行 事	内 容
4月	14	映画鑑賞会	飲物とおやつを食しながら映画を鑑賞する
	26	お楽しみ食事会	豪華食事と酒類等を楽しんでいただく
5月	12	母の日のお祝い	女性入所者へ母の日を祝う
	7・16・23・28	外出デイ	外気に触れて季節を感じる
6月	1	開設記念式典	開設16周年を入所者と家族を招いて祝う
	9	父の日のお祝い	男性入所者へ父の日を祝う
	12	ふれあいショッピング	イトーヨーカドー琴似店の移動販売
	4・13・20・25	外出デイ	外気に触れて季節を感じる
7月	4	外出デイ	外気に触れて季節を感じる
	14	映画鑑賞会	飲物とおやつを食しながら映画を鑑賞する
	27	手稲ロータス会夏まつり	ロータス合同、出店やイベントを催す
8月	14	納涼盆踊り大会	夕刻に入所者全員で盆踊りを楽しむ
	29	お楽しみ食事会	豪華食事と酒類等を楽しんでいただく
	1・6・13・22	外出デイ	外気に触れて季節を感じる
9月	14	敬老祝賀会	敬老週間に因み長寿を祝う(デイケアと合同)
	3・5・17・26	外出デイ	外気に触れて季節を感じる
10月	3	外出デイ	外気に触れて季節を感じる
	10	歌謡ショー	職員が仮装等で歌を披露
	20	運動会	リハビリを兼ねて入所者同士の絆を深める
11月	28	お楽しみ食事会	豪華食事と酒類等を楽しんでいただく
12月	12	餅つき大会	杵と臼で餅つきと食事を楽しむ
	23	クリスマス会	クリスマスツリー等の飾付を行い、雰囲気を楽しむ
	27	忘年会	一年を振り返り家族と共に長寿を喜び互いの絆を深める
1月	1	新春茶話会	入所者全員で新年を祝う
	2	新春ゲーム大会	福引・カルタ・百人一首等でゲームを楽しむ
	16	お楽しみ食事会	豪華食事と酒類等を楽しんでいただく
2月	2	節分(豆まき)	干支歳の入所者による豆まき等
	27	歌謡ショー	職員が仮装等で歌を披露
3月	3	桃の節句(ひなまつり)	ひな人形を飾り、雰囲気と食事を楽しむ

【備 考】

- ※「誕生会」各入所者の誕生日の11:00に実施
- ※「あかしや会」(歌のボランティア)毎月第2・4火曜日(冬期間12～2月は休み)
- ※「音楽療法」毎月第3土曜日
- ※「日曜喫茶」「ひだまり喫茶」(各階)毎週日曜日
- ※「避難訓練」年2回(6/27 10:00～・11/28 10:00～)
- ※ 随時、少人数プログラム、その他地域との交流会など

年間行事予算

(単位:円)

月	行事名	実施日	実施内容	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	映画鑑賞会 お楽しみ食事会	14日 26日	飲物等を摂取しながら映画を鑑賞 豪華食事と酒類等を楽しんでいただく	運営費 5,000 食事代(入所者分) 200 × 90 人 飲物代(入所者分) 25,000 装飾費等 15,000	18,000 25,000	5,000 15,000	63,000
5月	母の日のお祝い 外出デイ	12日 計4回	女性入所者へ母の日を祝う。 外気に触れて季節を感じる	プレゼント代 500 × 70 人 飲食代(入所者) 実費 飲食代(職員) 1,000 × 24 人	24,000	35,000 実費	59,000
6月	開設16周年記念 父の日のお祝い ふれあいショッピング 外出デイ	1日 9日 12日 計4回	開設の記念を入所者又は家族と一緒に祝う。 男性入所者へ父の日を祝う。 買物をとおして刺激ある生活を送る。 外気に触れて季節を感じる	飲食代(入所者分) 900 × 90 人 飲食代(職員分) 900 × 55 人 家族食事代 400 × 70 人 飲み物代他 20,000 記念品 350 × 230 人 往復ハガキ 100 × 90 人 装飾費等 10,000 プレゼント代 500 × 10 人 買物代 実費 飲食代(入所者) 実費 飲食代(職員) 1,000 × 24 人	81,000 49,500 28,000 20,000 80,500 24,000	9,000 10,000 5,000 実費	307,000
7月	外出デイ 映画鑑賞会 ロータス会夏祭り	4日 14日 27日	外気に触れて季節を感じる 飲物等を摂取しながら映画を鑑賞 隣接する事業と同時時間帯にて、各施設 位で地域交流も含めた夏祭で賑わう	飲食代(入所者) 実費 飲食代(職員) 1,000 × 10 人 運営費 5,000 模擬店材料代・飲物代 250,000 職員・ボランティア食事代 400 × 100 人 往復ハガキ 100 × 90 人 装飾費等 20,000	250,000 40,000	5,000 9,000 20,000	324,000
8月	外出デイ 納涼盆踊り大会 お楽しみ食事会	計4回 14日 29日	外気に触れて季節を感じる 夕刻に入所者全員で盆踊りを楽しむ。 豪華食事と酒類等を楽しんでいただく	飲食代(入所者) 実費 飲食代(職員) 1,000 × 24 人 飲食代(入所者分) 200 × 90 人 運営費 10,000 装飾費等 10,000 飲食代(入所者分) 200 × 90 人 飲物代(入所者分) 25,000 装飾費等 15,000	24,000 18,000 18,000 25,000	10,000 10,000 15,000	120,000
9月	外出デイ 敬老祝賀会	計4回 14日	外気に触れて季節を感じる 敬老週間に因み長寿を祝い、無病息災 を祈願する。	飲食代(入所者) 実費 飲食代(職員) 1,000 × 24 人 入所者食事代 900 × 90 人 家族食事代 400 × 70 人 職員・ボランティア食事代 900 × 55 人 往復ハガキ 100 × 90 人 記念品代 600 × 230 人 飲み物代他 20,000 装飾費等 10,000	24,000 81,000 28,000 49,500 138,000 20,000	9,000 10,000	359,500
10月	外出デイ 歌謡ショー 運動会	3日 10日 20日	外気に触れて季節を感じる 職員が仮装等で歌を披露 リハビリを兼ねて入所者同士の絆を深め	飲食代(入所者) 実費 飲食代(職員) 1,000 × 10 人 装飾費等 15,000 飾付代他 15,000	15,000 15,000	15,000	30,000
11月	お楽しみ食事会	28日	豪華食事と酒類等を楽しんでいただく	飲食代(入所者分) 200 × 90 人 飲物代(入所者分) 25,000 装飾費等 15,000	18,000 25,000	15,000	58,000
12月	餅つき大会 クリスマス 忘年会	12日 23日 27日	杵と臼で餅つきと食事を楽しむ。 クリスマスツリー等の飾付を行い、雰囲気 を味わう。 一年を振り返り入所者が家族と共に長寿を 喜び互いの絆を深める。	もち米他 40,000 クリスマスケーキ 200 × 90 人 装飾費等 10,000 食事代(入所者) 900 × 90 人 食事代(家族) 400 × 80 人 食事代(職員) 900 × 60 人 ゲーム景品・備品・菓子代 30,000 飲み物代他 20,000 往復ハガキ 100 × 90 人 予備費 10,000	40,000 18,000 81,000 32,000 54,000 20,000 9,000 10,000	10,000 30,000	304,000
1月	新春茶話会 新春ゲーム大会 お楽しみ食事会	1日 2日 16日	入所者全員で新年を祝う カルタ、百人一首などを楽しむ 豪華食事と酒類等を楽しんでいただく	飲食代等 10,000 景品代等 20,000 飲食代(入所者分) 200 × 90 人 飲物代(入所者分) 25,000 装飾費等 15,000	10,000 18,000 25,000	20,000 15,000	88,000
2月	節分(豆まき) 歌謡ショー	2日 27日	干支歳の入所者による豆まき等 職員が仮装等で歌を披露	豆・備品代他 10,000 装飾費等 15,000	10,000 15,000	10,000	25,000
3月	桃の節句(雛祭) 共通 誕生会 喫茶	3日 各月末 毎週日曜	ひな人形を飾り、雰囲気と食事を楽しむ。 生誕を祝い健康を祈願する。	装飾費等 5,000 人 プレゼント代他 1,000 × 90 人 コーヒー等の代金 実費	5,000 90,000 実費	5,000 90,000	90,000
小計					1,406,500	426,000	1,832,500
消費税					70,325	21,300	91,625
合計					1,476,825	447,300	1,924,125

手稲あんじゅ(介護予防)通所リハビリテーション事業所

利用者が自立した在宅生活を継続していくためには、デイケアとして何が出来るのか、何が必要なのかを改めて考え、職員一人ひとりが専門職であることの自覚を持ち、日々の研鑽に努めます。また、各々が努力して積み上げたスキルを共有し、互いに高め合えるチームを構成し、利用者や家族の想いを汲取ったサービスの提供に努めます。

1. 日常生活リハビリテーションの実現

今後、利用者の出来ている事を維持しつつ心身機能や生活レベルが向上できるように実施していく。

【指標・評価方法】

目標達成状況を具体的に評価していくためにも、達成状況を点数形式する等の評価方法の見直しを図っていく。

2. サービス向上への取組みと在宅支援

多様化している家族の要望等を受止めた上で、他事業等との連携を強化しながら、よりよい在宅生活が送れるよう支援する。

【指標・評価方法】

家族の要望等を適確に把握するためにも、年2回程度の家族懇談会の実現を目指していく。

年間会議予定

月	会議予定(開催日)	対象職員
通年	デイケア会議(毎月第1火曜日開催)	全職員
	ケースカンファレンス(月3回開催)	全職員
	主任会議(週1回開催)	デイケア主任
	職員会議(偶数月開催)	全職員
	サービス担当者会議(随時出席)	支援相談員他

年間行事予定

(単位:円)

月	行事名	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	誕生会				
5月	誕生会 お花見ドライブ 母の日	花代 300 × 65 人		19,500	19,500
6月	誕生会 父の日 外出行事(外食) 開設記念日	花代 300 × 50 人 利用者食費 職員,ボランティア食費 職員,ボランティア施設利用費 記念品代 利用者食費(当日) 利用者食費	実費 72,000 10,880 15,000	15,000 36,000 34,500	183,380
7月	誕生会 夏祭り デイケア夏祭り	利用者参加費 (食費含む) 運営費(備品,飾りつけ等)	14,080	10,000	24,800
8月	誕生会 すいか割り	すいか、備品代		12,000	12,000
9月	誕生会 敬老祝賀会 外出行事(外食)	利用者食費(当日) 記念品代 記念品代(表彰者) 利用者食費 職員,ボランティア食費	10,880 65,550 20,000 72,000		168,430
10月	誕生会 運動会	運営費(飾りつけ等)		25,000	25,000
11月	誕生会 鍋週間				
12月	誕生会 もちつき クリスマス会 忘年会	プレゼント代 利用者食費 職員,ボランティア食費	65,280 45,000	115,000	225,280
1月	正月 誕生会 新春ゲーム大会	運営費(飾りつけ等)		10,000	10,000
2月	誕生会 節分豆まき	豆・備品代		1,500	1,500
3月	誕生会 桃の節句	利用者食費代 職員食事代		6,400 9,000	15,400
通年	レクリエーション制作教材費 装飾費(行事等) 誕生会(プレゼント代) 予備費	8,000 × 12 ヶ月 1,000 × 115 人		96,000 25,000 115,000 20,000	256,000
小計			305,120	635,450	941,290
消費税			15,256	31,773	47,065
合計			320,376	667,223	988,355

手稲あんじゅ(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

日常生活での自立を目的として、必要なリハビリテーションを提供し、住み慣れた家と地域で、その人らしい生活を送り続けることができるように支援していきます。

また、リハビリテーションの継続的な実施により、利用者が主観的にその効果を実感することで、生活の質の向上に繋がるよう努めていきます。更に、家族に対して、在宅での有効な介護方法についての相談に応じ、介護負担の軽減を図ることができるように支援していきます。

1. リハビリテーション計画の立案と実施

具体的且つ実現可能な目標を設定できるよう、本人、家族、主治医との連携を強化していく。

【指標・評価方法】

目標達成状況を具体的に評価していくためにも、達成状況を点数形式する等の評価方法の見直しを図っていく。

2. 他事業者との連携

快適且つ介護負担が軽減できる在宅生活の維持に向けて、サービス担当者会議等の場を有効活用していく。

【指標・評価方法】

介護負担軽減を図ると同時に他事業者との情報を共有していくためにも、生活環境等の調査方法を確立していく。

手稲あんじゅ 指定居宅介護支援事業所

高齢者が要介護状態になっても可能な限り住み慣れた地域で、継続して生活ができるよう、「介護・予防・医療・生活支援・住まい」の5つのサービスを一体化して提供していく「地域包括ケア」が取組まれています。実現の方向へ向うには、家族及び親戚をはじめ、その地域に住む方々の理解と協力が不可欠と考えます。

昨年度に引き続き、様々な角度から支援できるよう、地域との関わりを深め、更には、支援に携わるチームが最大限の力を発揮できるよう資質向上に努めていきます。

1. 支援体制の見直し

利用者を取り巻く環境の再アセスメントを行い、安心して暮らせる支援体制を構築する。

【指標・評価方法】

アセスメント票（エコマップ、ジェノグラムを取り入れたもの）を作成し、定期訪問時に聞き取り及び本人家族へ記載の協力を得る。紙面で見えてきたつながりをケアプランに組み入れ、本人家族にとってより良い支援を目指す。効果の確認については、年度末に実施するアンケートにて実施。

2. 担当者会議の充実

支援に携わるチームが最大限の力を発揮できるよう、司会進行技術を高める。

【指標・評価方法】

毎週開催している居宅会議において、司会技術の評価を実施。下記の3点について司会者以外のケアマネジャーが評価する。

ア・時間を厳守できたか。

イ・意見を引き出す努力をしたか。

ウ・意見を要約し、総括できたか。

また、実際の担当者会議開催後には、自己評価も実施。できたかできていないかで評価し、欠点を確認する。その他、専門研修へ参加し司会進行の技術を高める。

手稲あんじゅ（介護予防）訪問介護事業所 手稲あんじゅ居宅介護事業所

平成 25 年 4 月 1 日に障害者総合支援法が施行され、今まで利用できなかった、難病の方もヘルパーサービス利用の対象となりました。介護保険制度では、地域包括ケアシステムの構築と推進が要となっています。専門職としての資質向上を目指し、利用者及び家族の声に応えられる事業所となれるよう自己研鑽に努めます。

1. 介護保険制度の理解とヘルパーの資質向上

介護保険制度を正しく理解することで、ヘルパー全員の資質を向上し、適切なサービス提供を目指す。

【指標・評価方法】

毎月行う、ヘルパー研修内容の理解度を高めるため、研修の終了 5 分前に「理解度チェック」として 5 問程度の簡単なテストを行い、内容をどの程度、理解できたか評価を行う。また、理解の度合いによって、必要なスキルを個別指導していく。

2. 訪問介護計画書に基づく自立支援型サービスの実施

サービス内容が計画通りであるか、その人らしい自立した生活ができているか、アセスメント・評価を確実に行う。

【指標・評価方法】

年間ですべての利用者の評価が出来るように、ケアプランの長期目標終了月に合わせ、ひと月 10 人程度の利用者をヘルパーグループ別定例会にてカンファレンス。

また、アセスメントシートに基づき評価を行い、訪問介護計画書の評価の欄にサービス提供責任者が記載をする。

3. 障害者総合支援法の理解と関係機関との連携強化

今年度、自立支援法から「障がい者総合支援法」へ改正となる。適切なサービスを提供できるよう、新たな制度を正しく理解する。また、各関係機関と相談支援事業者との関わりを深め、利用者の拡大に繋げる。

【指標・評価方法】

提供責任者が、外部研修やセミナーに参加し、制度の理解を深め、定例会にて全ヘルパーへ伝達研修を行う。研修の終了前に「理解度チェック」を行い、理解度の確認を行う。また、関係機関との関わりを深めるため、パンフレットを作成し、月 1 回は、民生委員や地域住民へ配布し、障がい福祉サービスの周知活動を実施する。

札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置

地域の介護予防の意識向上を目指すため、講話活動、周知活動を通して新たな町内会への介護予防の普及啓発を行います。また、すこやか倶楽部の、周知拡大と共に実施回数と実施会場の増加を図り新規参加者の獲得を目指します。地域との連携機会を持ち、地域での介護予防推進を円滑に行うため、更なる関係強化に努めます。

1. 町内会での更なる介護予防への理解と協力を得る関係作り

依然として関わりを持てていない町内会は多い。介護予防センターから直接コンタクトを取り、介護予防事業の取り組みについて地域住民に直接周知の機会を増加させ、介護予防の理解と周知を行い、事業の推進に協力していただける関係を構築していく。

【指標・評価方法】

担当地区内には 57 の単位町内会があり、今まで関わりを持てている町内会、また今後関わられた町内会を地図上でチェックして、チェックの付いていない町内会に積極的にアプローチしていく。

2. 介護予防教室（すこやか倶楽部）の新規参加者増加を目指す

すこやか倶楽部をはじめとする介護予防事業に今まで参加したことが無い、「新規参加者」の増加を目的として、より多くの地域高齢者が参加できるよう、使用会場・実施回数を増加し、参加者の広域化を図る。

【指標・評価方法】

参加者が伸び悩んでいる星置地区のすこやか倶楽部の会場を 1 か所増やし、新たな会場の付近に住んでいる方の参加状況を分析する。現在周知している町内回覧の他、地域関係者からの助言をいただき、公共機関での掲示、町内会の講話活動の拡大と同時に周知も行い、参加者の増加するかを分析する。

3. 地域の身近な協力機関・相談窓口としての周知

訪問しての相談対応が増加きているため、今後は民生委員や関係機関と協働しての相談ケース対応の機会を増やしていくことを目指す。同時に介護予防センターが、「相談窓口」であることを地域に知って頂くため、更に周知を進めていく。

【指標・評価方法】

活動報告書を基に毎月の相談件数、内容、経路についての分析を行う。また、前年度の相談件数月平均 7～8 件（年間 90 件）の相談件数を上回るため、今年度は月平均 9 件以上（年間 108 件以上）の相談件数を目標とする。そのためすこやか倶楽部と合わせて相談窓口としての機能についても周知を行う。

年間会議予定

月	会議予定(開催日)	対象事業所
通年	居宅会議(毎週金曜日)	居宅介護支援事業所(介護支援専門員)
	ヘルパー合同会議(月1回)	訪問介護事業所
	ヘルパー定例会議(月3回)	訪問介護事業所
	介護予防調整会議(各地区1回 年2回)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	地域包括支援センター介護予防センター連絡会議(月1回 第3火曜日)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	手稲区介護予防センター連携会議(月1回)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	担当地区会議(区保健師・地域包括支援センター・介護予防センター)(月1回)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	地域包括支援センター運営会議(年2回)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	介護予防事業情報交換会(手稲区:各4介護予防センター)(奇数月)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	介護予防フェスタ(手稲区介護予防センター主催事業)(7月)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	手稲ふれあいフェスティバル(手稲区介護予防センター共済事業)(10月)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	星置地区運営会議(月1回 第1火曜日)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	稲穂金山地区事務局会議(月1回 第1木曜日)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	星置地区福祉推進委員の集い(年2回 7月・3月)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	星置地区新年交流会(1月)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	稲穂金山地区各種団体交流会(3月)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	むぎの会総会・例会(3月)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置

介護予防普及啓発事業予定・予算

(単位:円)

月	活動名	費用内訳	金額	合計予算金額
4月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 材料費代 実施回数 4回	3,850 2,000	5,850
5月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 材料費代 講師謝礼代 実施回数 4回	7,000 15,000 3,000	25,000
6月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 講師謝礼代 実施回数 4回	3,550 10,000	13,550
7月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 実施回数 4回	4,950	4,950
8月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 実施回数 3回	3,550	3,550
9月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 講師謝礼代 実施回数 4回	4,950 5,000	9,950
10月	介護予防すこやか倶楽部	材料費代 実施回数 4回	6,000	6,000
11月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 講師謝礼代 実施回数 4回	7,200 3,000	10,200
12月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 材料費代 実施回数 4回	4,050 15,000	19,050
1月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 材料費代 講師謝礼代 実施回数 3回	4,050 8,000 3,000	15,050
2月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 材料費代 実施回数 4回	4,050 7,000	11,050
3月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 材料費代 実施回数 4回	5,450 3,000	8,450
その他	地域福祉活動支援事業 その他活動予備費	地域福祉活動支援事業開催に伴う必要経費、その他介護予防事業開催に伴う必要経費代など 実施回数 32回	80,000	80,000
合 計			212,650	212,650

(介護予防) 認知症対応型共同生活介護 手稲ゆうゆう (介護予防) 認知症対応型通所介護 手稲ゆうゆう

手稲ゆうゆうは、認知症の診断を受けた方が共同で生活している家であり、職員は利用者一人ひとりの認知症を熟知したうえで、寄り添い支援する事が大切です。

利用者が、持っている能力を維持し十分に発揮しながら、心地良く安心して生活できるように、専門職としての意識を新たにしてサービスの提供に努めます。

〔共同生活介護〕

1. 転倒防止のためのリハビリ強化

加齢だけでなく、認知症の進行によっての意欲の低下から身体機能が落ちないように、現在実施している体操・散歩・階段の昇降に加えて、楽しく参加できるリハビリのコーナーを作って、体幹と下肢の各関節の動きと筋力の維持を図り、転倒を防止する。

【指標・評価方法】

特に歩行状態が低下している利用者を、それぞれのユニットから何名かピックアップして①参加意欲②満足度③回数の増減④体調の変化を1か月ずつ記録して効果を検証する。

2. 生活リズムの調整

不眠や頻尿により「生活の質」が低下している利用者に、睡眠パターンを把握する、頻繁にトイレに行く原因を探るなどをして解決を図り、生活リズムを整える。

【指標・評価方法】

利用者の一日がひと目で把握できるように、個別の排泄表を1か月作成する。原因を推察しケアの見直し、家族・病院との連携を図る。

3. 専門職としての自己研鑽

実践と学習の相互の継続によって、自身の通常の実践を客観的に見直し、改めて、認知症ケアの専門的知識と技術の向上に努める。

【指標・評価方法】

- ①グループホーム内研修、法人研修への参加表を作成し、年約18回のうち、7～10回を目標とする。
- ②外部研修の出席者を増やす。
- ③毎月一人ずつ、自己学習の発表をする。

〔通所介護〕

1. 適切なケアに向けた家族との情報交換

利用者が、身体的疾患や認知症の進行でこくこくと変化していることを踏まえ、ノートを確実に情報交換の場としていくことにより、随時、適切なケアへと繋げる。

【指標・評価方法】

グループホームでの様子を伝える事が主だったノートを、今後は、在宅での状況や要望を家族から得る事が出来るような形式に変更する。

年間会議予定

月	会議予定(開催日)	対象職員
通年	職員会議・・・毎月第4週目18:00開催	全職員
	避難訓練・・・年2回実施(6/27昼間想定、11/28夜間想定)	全職員
	運営推進会議・・・2ヶ月に1回奇数月第4水曜日14:00～15:00	家族、町内会役員、包括支援センター他
	サービス担当者会議(随時出席)	管理者他

年間行事予算

(単位:円)									
月	行 事 名	実 施 内 容	費 用 内 訳		給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額		
4月	北海道神宮参り	バスレク・出前	入居者食事代	240 × 36人	8,640				
			通所者食事代	560 × 6人	3,360				
			職員食事代	1,000 × 8人	8,000				20,000
5月	端午の節句 母の日 お花見	女性利用者お祝い バスレク・出前	柏餅	100 × 21人	2,100		5,400		
			カーネーション	300 × 18人					
			入居者食事代	240 × 36人	8,640				
			通所者食事代	560 × 6人	3,360				
			職員食事代	1,000 × 8人	8,000				27,500
6月	開設記念日(1日)	祝賀会(家族参加)	入居・通所者飲食代	1,000 × 21人	21,000				
			家族飲食代	1,000 × 20人	20,000				
			職員飲食代	1,000 × 10人	10,000				
			往復ハガキ	100 × 24人			2,400		
			記念品	300 × 55人			16,500		
			予備費	10,000			10,000		
	父の日 市内見物	バスレク・出前	入居者食事代	240 × 36人	8,640				
			通所者食事代	560 × 6人	3,360				
			職員食事代	1,000 × 8人	8,000				99,800
7月	ロータス夏祭り(27日)	母体施設と合同(家族参加)		100,000	100,000				
	市内見物	バスレク・出前	往復ハガキ	100 × 24人			2,400		
			入居者食事代	240 × 36人	8,640				
			通所者食事代	560 × 6人	3,360				
			職員食事代	1,000 × 8人	8,000				122,400
8月	海辺見物	バスレク・出前	入居者食事代	240 × 36人	8,640				
			通所者食事代	560 × 6人	3,360				
			職員食事代	1,000 × 8人	8,000				
	七夕 盆踊り(14日)		飾り付け他	2,000			2,000		22,000
9月	敬老祝賀会(14日)	祝賀会(家族参加)	入居・通所者飲食代	1,000 × 21人	21,000				
			家族飲食代	1,000 × 20人	20,000				
			職員飲食代	1,000 × 10人	10,000				
			往復ハガキ	100 × 24人			2,400		
			記念品	600 × 55人			33,000		
			祝品	2,000 × 10人			20,000		
			予備費	10,000			10,000		
	市内見物	バスレク・出前	入居者食事代	240 × 36人	8,640				
			通所者食事代	560 × 6人	3,360				
			職員食事代	1,000 × 8人	8,000				136,400
10月	紅葉狩り	バスレク・出前	入居者食事代	240 × 36人	8,640				
			通所者食事代	560 × 6人	3,360				
			職員食事代	1,000 × 8人	8,000				
	十五夜		月見饅頭	100 × 21人	2,100				22,100
11月	外食ディ	バスレク・出前	入居者食事代	240 × 36人	8,640				
			通所者食事代	560 × 6人	3,360				
			職員食事代	1,000 × 8人	8,000				20,000
12月	ホワイトイルミネーション 餅つき クリスマス会	バスレク	甘酒他	200 × 18人	3,600				
			餅米他	10,000	10,000				
			プレゼント	1,000 × 23人			23,000		
			ケーキ他	13,000			13,000		
			飾り付け他	10,000			10,000		
	忘年会		利用者食事代	2,000 × 21人	42,000				
			職員食事代	2,000 × 7人	14,000				
			往復ハガキ	100 × 24人			2,400		
			予備費	20,000			20,000		138,000
1月	お正月 書初め 新年会 七草 外食ディ	バスレク・出前	お節料理	1,500 × 18人	27,000				
			半紙他	300			300		
			和菓子	150 × 21人	3,150				
			入居者食事代	240 × 36人	8,640				
			通所者食事代	560 × 6人	3,360				
			職員食事代	1,000 × 8人	8,000				50,450
2月	節分 雪祭り見物	バスレク・出前	豆他	2,000	2,000				
			入居者食事代	240 × 36人	8,640				
			通所者食事代	560 × 6人	3,360				
			職員食事代	1,000 × 7人	7,000				21,000
3月	桃の節句	お好み寿司	入居者食事代	240 × 18人	4,320				
			通所者食事代	560 × 3人	1,680				
			桜餅他	100 × 21人	2,100				8,100
通年	誕生会・・・各利用者の誕生日に実施		ケーキ他	2,500 × 23人	57,500				
	ショッピング・お好み献立・パン献立・手作りおやつ・・・毎月実施		カード	200 × 23人			4,600		62,100
小 計					585,550	164,400			749,950
消 費 税					29,278	8,220			37,498
合 計					614,828	172,620			787,448

介護老人保健施設あんじゅ音更

介護保険改定後、在宅復帰と言う命題が叫ばれ早1年が過ぎました。当施設においては、認知症専門棟があるため、在宅へ入所者を復帰させる事も難しく、介護度が上がり介護負担が増すと言うジレンマに陥っています。

しかし、その様な状況においても、我々入所職員は、自己研鑽を続け地域の人々と協力しながら、常に利用者の自主性を尊重し、一人の人間として尊厳を保つ事が出来るよう支援を行っていきます。

1. 「故郷（家）に帰ろう！」を合言葉に家族と共に入所者の笑顔を引き出す

入所者の身体特性や能力評価を行ったケアプランに基づいて、看介護、リハビリの提供を行う事で、入所者の残存能力を生かし、更に、職員が付き添ったり、家族が適切な介護技術を理解する事で、短時間でも家族と自宅で過ごす機会が持てるよう支援する。

【指標・評価方法】

ケアカンファレンスへの家族の参加率 70%、年2回の家族向け介護教室を開催する事で、入所者の状況に関して共通認識を持つ事が出来るよう、又、家族が適切な介護技術を持てるよう支援し、自信を持って入所者と一緒に行動が出来るようにする。その上で、自宅外出・外泊が最低一人1回以上出来、在宅復帰率 10%以上出来るよう目指す。

2. 地域・ボランティアとの交流を深め、生活の質の向上を図る

近隣の保育園や小中学校との交流やボランティアの協力により、入所者の気分転換や余暇活動の幅が広がるよう支援する。

【指標・評価方法】

保育園、学校と年 12 回の交流を持ち、週 1 回以上のボランティア活動をして頂く事で、地域住民と触れ合いを持つ機会を作る。この事により入所者の生活の質が向上できたか、入所者への生活満足度アンケートを実施する事で考察する。

3. 専門職としての自覚と他職種との連携を強化する

職員は、入所者の身体機能の変化や認知症の理解を深め、介護の専門性を高めるため、自己研鑽に努める。そのために資格取得や研修会への積極的参加を行う。又、委員会及びマニュアル、フローアでの活動内容や報告を定期的に行い、各職員が共通理解のもとに入所者の質の向上に努める事が出来るようにする。

【指標・評価方法】

施設内研修、外部研修へ年 12 回以上参加し、伝達講習も年 12 回以上行う事で職員の質を高める。又、職員会議において、フローア、委員会及びマニュアルの活動報告を行う事で目標に対する評価を行い、各職種の連携強化を行えるよう目指していく。

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会 議	職員会議	年3回
	幹部会議	毎月第2水曜日 17:00～
	入所判定会議	毎週金曜日 11:00～
	ケアカンファレンス	毎週水・金曜日 11:00～
	看護師会議	毎月第3月曜日
	合同フロア会議	毎月第3水曜日 17:45～
委員会	医療事故防止委員会	委員会：毎月第2水曜日 小委員会：月1回 17:45～
	身体拘束廃止委員会	委員会：毎月第2水曜日 小委員会：月1回 17:45～
	感染対策委員会	委員会：第2水曜日 小委員会：月1回 17:45～
	褥瘡対策委員会	3ヶ月毎(対象者がいる場合月1回)
	接遇委員会	随時
	研修委員会	毎月
	教育委員会	随時
	給食委員会	第4木曜日
	防災委員会	随時
	口腔ケア委員会	第4木曜日 11:00～

年間行事予定

月	実施日	行 事	内 容
4月	中旬	家族交流会	家族介護教室の開催
5月	上旬	お花見外出	鈴蘭公園にてお花見をする。
		母の日	母の日を祝う。(入所者の声を反映した食事提供)
	19日	開設記念式典	開設9周年を祝う。
6月		父の日	父の日を祝う。(2回に分けてそば打ちを行う)
	下旬	買い物デイ	施設内に移動販売を呼び、買物を楽しむ。
7月	28日	夏祭り	ロータスと合同開催。模擬店やイベントを催す。
8月	下旬	焼肉行事	屋外に出て、焼肉を楽しみ、夏の風情を味わう。
9月	15日	敬老祝賀会	家族と共に、入所者の長寿を祝う。
10月	中旬	家族交流会	食事を兼ねて、入所者・家族との交流を図る。
11月	下旬	買い物デイ	施設内に移動販売を呼び、買物を楽しむ。
	上旬	運動会	リハビリを兼ねて、運動の機会と交流を目的に行う。
12月	25日	クリスマス忘年会	食事を囲み、クリスマスの雰囲気を楽しむ。
	31日	年越し	神飾りや鏡餅を飾り、お酒を振る舞い新年を迎える。
1月	1日	正月	おせち料理で新年を祝う。
	中旬	新年餅つき大会	杵と臼を使って、餅つきを楽しむ。
2月	3日	節分	干支歳の入所者による豆まき等。
	下旬	鍋行事	昼食に鍋を囲んで、食事を楽しむ。
3月	3日	桃の節句	職員による相撲大会。

【備考】

※「誕生日会」各入所者の誕生日に実施

※「変わり湯」奇数月に実施

※「日曜喫茶」各階にて毎週日曜日に実施

※「避難訓練」年2回(10月・3月)実施

※「華道クラブ」毎月第2土曜日に実施

※「紙遊びクラブ」毎月第3金曜日に実施

※「個別外出」5月～10月の間で入所者の希望に沿った外出を実施

年間行事予算

(単位:円)

月	行事名	実施日	実施内容	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	家族交流会	中旬	食事を兼ねて、入所者・家族との交流を図る。	入所者食事代 200 × 100 人 入所者自費食事代 240 × 100 人 入所者飲み物代 10,000 家族飲食代 20,000	20,000 10,000 20,000		50,000
5月	花見外出 母の日 開設9周年記念 個別外出	 19日	開花時期に鈴蘭公園にてお花見。 入所者の声を反映した食事提供を行う。 開設記念を入所者、家族と共に祝う。 入所者の希望に沿った外出を行う。	入所者飲食代 100 × 100 人 入所者食事代 320 × 100 人 入所者自費食事代 240 × 100 人 入所者食事代 760 × 100 人 飾付け材料代 10,000 入所者飲食代 実費	10,000 32,000 76,000 	 10,000	128,000
6月	父の日 買い物デイ 個別外出	計2回	蕎麦打ち披露・試食会 施設内に店を呼び、買物を楽しみ社会交流を図る。 入所者の希望に沿った外出を行う。	入所者食事代 320 × 100 人 入所者自費食事代 240 × 100 人 入所者買い物代 実費 入所者飲食代 実費	32,000 		32,000
7月	夏祭り 個別外出	28日	ロータス音更との合同開催 入所者の希望に沿った外出を行う。	入所者食事代 300 × 100 人 入所者自費食事代 240 × 100 人 往復薬書代 100 × 100 人 模擬店・飾付け材料代 290,000 入所者飲食代 実費	30,000 290,000 	10,000 290,000	330,000
8月	焼肉行事 個別外出		屋外に出て、焼肉を楽しみ、夏の風情を味わう。 入所者の希望に沿った外出を行う。	入所者飲食代 760 × 100 人 入所者自費食事代 240 × 100 人 炭など備品代 20,000 入所者飲食代 実費	76,000 20,000 	20,000	96,000
9月	敬老祝賀会 個別外出	15日	家族、職員と共に入所者の長寿を祝う。 入所者の希望に沿った外出を行う。	入所者食事代 760 × 100 人 入所者自費食事代 240 × 100 人 家族食事代 400 × 100 人 往復薬書代 100 × 100 人 高齢者表彰記念品代 2,000 × 20 人 飾付け材料代 30,000 入所者飲食代 実費	76,000 40,000 40,000 30,000 	10,000 40,000 30,000	196,000
10月	家族交流会 個別外出		食事を兼ねて、入所者・家族との交流を図る。 入所者の希望に沿った外出を行う。	入所者食事代 200 × 100 人 入所者自費食事代 240 × 100 人 入所者飲み物代 10,000 家族飲食代 20,000 入所者飲食代 実費	20,000 10,000 20,000 		50,000
11月	運動会 買い物デイ	計2回	リハビリを兼ねて入所者間の交流を図る。 施設内に店を呼び、買物を楽しみ社会交流を図る。	備品・材料代 20,000 入所者買い物代 実費	 	20,000	20,000
12月	クリスマス忘年会 年越し	25日 31日	食事を囲み、クリスマスの雰囲気を楽しむ。 神飾りや鏡餅を飾り、新年を迎える。	クリスマスケーキ 200 × 100 人 飾付け材料代 40,000 入所者食事代 200 × 100 人 飲料・菓子・備品代 30,000	20,000 20,000 30,000	40,000	110,000
1月	正月 新年餅つき大会	1～3日 計2回	おせち料理で新年を祝う。 杵と臼を使って、餅つきを楽しむ。	おせち料理 100,000 もち米他材料代 20,000	100,000 20,000		120,000
2月	節分 昼食行事	3日 計2回	干支歳の入所者による豆まき等。 季節を感じ、鍋を囲んで交流を図る。	豆・備品代 10,000 入所者食事代 200 × 100 人 入所者自費食事代 240 × 100 人 入所者飲み物代 10,000	 20,000 10,000 0	10,000	40,000
3月	桃の節句	3日	大相撲大会	景品・備品代 20,000		20,000	20,000
通年	誕生日会 変わり湯 日曜喫茶 レク用品 園芸用品	毎月 奇数月 日曜日	入所者の誕生日に合わせお祝いを行う。 変わり湯を楽しみ、入浴意欲を高める。	プレゼント代 2,000 × 100 人 入浴物品代 3,000 × 6 ヶ月 材料代 2,000 × 12 ヶ月 レク用品代 5,000 × 12 ヶ月 園芸用品代 30,000	 24,000 	200,000 18,000 60,000 30,000	332,000
小計					666,000	808,000	1,524,000
消費税					33,300	40,400	76,200
合計					699,300	848,400	1,600,200

あんじゅ音更(介護予防)通所リハビリテーション事業所

2010 年 65 歳以上の人口が 2,948 万人高齢化比率 23%であったのが、2030 年には 3,685 万人高齢化比率 31.6%になる（平成 24 年厚生白書より）と言われています。この様な超高齢者社会の中、在宅生活者が増え、介護予防としての通所リハビリテーションの役割が重要になってきています。

この様な状況下の中、我々通所リハビリテーション事業所職員は、利用者が在宅生活の中で生きがいを持ち、身体機能を維持向上しながら日々の生活を送れよう、自己研鑽を行い支援していきたい。

1. 楽しみ溢れる事業所づくり

一昨年より「選ばれる事業所」「最高の笑顔溢れる事業所」を目標に定め、デイケアの運営に取り組んできた。今年度については、「利用日が待ち遠しい」「通所する事が楽しみで仕方ない」と思って頂ける事業所を目指していく。そのためには、日々のケアに満足せず、変わりゆく利用者のニーズに気づき、常に新たな取り組みへ挑戦し、ケアの質の向上に努めていく。

【指標・評価方法】

「エコキャップ運動の推進」や「運動スタンプラリーの実施」をする事で利用者にデイケアに通う事に楽しみを持って頂く。その結果、目標として、通所利用者の体操参加率を 80%以上にし、通所利用率を 94%以上にする。

2. 福祉専門職として信頼される職員へ

福祉専門職として、実務年数に応じた目標を各職員が定め、資格取得や研修へ参加する事により自己研鑽を行う。又、新たに取得した知識や技術を会議で伝える事で他の職員全体のレベルアップを図る。

【指標・評価方法】

介護福祉士・介護支援専門員・認知ケア専門士等の資格取得や研修へ参加してもらう。参加した研修会や伝達講習会、取得した資格人数を年度末に集計し、次年度の計画を立てる。

3. チームケア力の強化

「利用者本位」「利用者第一」を合言葉に関係職種が一体となり、利用者のニーズ達成に向けたケアを実践する。

【指標・評価方法】

月 2 回の定期的なカンファレンスの中で、関係職種が積極的に利用者のニーズ達成のため話し合いケアを実践する。その結果、利用者が満足出来たかをアンケートし、更に改善対策等を検討する。

年 間 会 議 予 定

月	会 議 予 定 (開 催 日)	対 象 職 員
通年	デイケア会議 (第2火曜日)	全職員
	デイケアカンファレンス (第1・3火曜日)	全職員
	幹部会議(第3木曜日)	支援相談員(主任職)
	サービス担当者会議	支援相談員他

年 間 行 事 予 算

(単位:円)

月	行 事 名	内 容	費 用 内 訳	給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	園芸	畑整地・苗植え	材料費(プランター・苗等) 30,000		30,000	30,000
5月	母の日	母の日を祝う	プレゼント代(花) 300 × 70 人		21,000	
	開設記念祝賀会		通所者昼食代 760 × 30 人	22,800		
			通所者自費昼食代 240 × 30 人	7,200		
						51,000
6月	父の日	父の日を祝う	プレゼント代(花) 300 × 40 人		12,000	
	外食行事	外食	職員補助 670 × 80 人		53,600	
			備品 5,000		5,000	70,600
7月	夏祭り		フロアー飾り付け等 10,000		10,000	
			半被・レンタル・音響等 90,000		90,000	
			通所者食事代 300 × 30 人	9,000		
			ボランティア食事代 500 × 10 人	5,000		114,000
9月	敬老祝賀会		高齢者表彰記念品 2,000 × 20 人	40,000		
			通所者食事代 760 × 30 人	22,800		
			通所者自費昼食代 240 × 30 人	7,200		
			ボランティア謝礼代(余興)	10,000		
		敬老週間(作品展示等)	制作・飾付等材料費 20,000		20,000	100,000
10月	運動会		備品 10,000	10,000		10,000
12月	クリスマス&忘年会		クリスマスプレゼント 700 × 110 人		77,000	
			飾付等 30,000		30,000	107,000
1月	餅つき			10,000	5,000	15,000
3月	昼食行事					
通年	レクリエーション制作材料費		5,000 × 12 ヶ月		60,000	
	誕生日プレゼント代(毎月第1週に誕生週間)		1,000 × 110 人		110,000	
	予備費		15,000		15,000	185,000
小 計				144,000	538,600	682,600
消 費 税				7,200	26,930	34,130
合 計				151,200	565,530	716,730

あんじゅ音更(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

国は平成24年厚生白書の中で「地域包括ケアシステムの構築と高齢者住まいの整備」を掲げています。高齢者が住み続ける事が出来る高齢者住まいの整備は地域包括ケアシステムにおける重要な柱の一つとなっております。この一役を担う訪問リハビリテーションの在宅生活支援における役割は大変重要となっております。

この事を踏まえ、我々訪問リハビリテーション事業所職員は、利用者のQOL向上、生活空間の広がり、ついてはその人らしい生活を送る事が出来るような支援を行っていきます。

1. 継続した在宅生活への支援

利用者、家族の思いを考慮しながら、その人らしい生活を送る事が出来るように支援する。

【指標・評価方法】

3か月ごとのリハビリ計画書の見直し時に、利用者、家族の意向を確認し、リハビリプログラムに反映させる。年に1回利用者・家族へアンケートを実施し、リハビリ計画書に意向が反映されているか確認検討を行う。

2. 作業療法士・言語聴覚士の専門性を生かしたサービスの提供

作業療法士、言語聴覚士の専門性を発揮する事で、利用者の生活の質の向上、生活空間の広がりに繋がる様な支援を行う。

【指標・評価方法】

在宅における介護方法の指導・自宅の環境整備等の助言（作業療法士）、コミュニケーションを図れるための助言指導（言語聴覚士）を行った内容について、月毎にまとめ、検討会を行う。又、アンケートを実施し利用者がどの様に感じているか検証する。

3. スキルアップを図る

リハビリ職員各々の知識、技術を高め利用者により良いリハビリを提供していく。

【指標・評価方法】

1年間の研修の内容（施設病院への見学・自主研修等）と回数を集計し、どの様な効果をもたらす事が出来たかを検証する。

あんじゅ音更居宅介護支援事業所

現在、国の政策は施設から在宅への流れになっています。この様な流れの中、在宅生活を支援する我々居宅介護支援事業所の役割は大変重要になってきています。高齢者を狙った詐欺の横行、独居老人の金銭管理の問題等、我々介護支援専門員が状況を確認し、町と連携しながら後見制度を活用させると言った案件も増えてきています。

これからの高齢者社会のため、我々は、認知症の高齢者や身体的な疾患がある障害者が在宅で尊厳を保ちながら、安心して自立した生活を送れるよう支援していきます。

1. 介護支援専門員の専門性、資質の向上を図る

それぞれの担当者より困難事例を抽出してもらい、医療・福祉社会制度の活用方法、地域との連携、調整の方法を話し合い、知識や資質の向上を図る。又、施設内外の研修会、勉強会へ積極的に参加を行う。

【指標・評価方法】

月4回年間12回、事例検討会を開催し困難事例についての検討をおこなう。又、特Ⅱの会、介護支援専門員の勉強会、公的機関主催の勉強会、音更町主催地域ケアマネ研修会へ参加し勉強する事で個々の介護支援専門員の資質向上を行う。どの様な事を学んだかを年度末に一覧化する。

2. 地域・医療福祉機関との連携強化

地域における社会資源の調査を行い、訪問看護、訪問リハビリテーション、訪問介護、在宅療養管理指導等を適時に利用できるよう地域の医療福祉機関と連携強化を行う。

【指標・評価方法】

地域内のフォーマル・インフォーマルサービス内容を調査し一覧にする。地域の医療福祉機関と連携する事で解決できた困難事例を年度末に報告する。

3. 利用者、家族への精神的支援の継続と地域社会への貢献

認知症状の進行に伴う介護負担の増大に起因するレスパイトや虐待などの諸問題について、相談を受け対応する事で精神的な負担の軽減を図る。独居や高齢者世帯が抱える契約問題や金銭管理問題等について、家族や町の包括と話し合い解決する。事業所で支援できる最大限の利用者を維持する事で、地域社会への貢献を行う。

【指標・評価方法】

利用者・家族の精神的な負担を軽減できたか検証するため、虐待事例等に関する対処事例数を出す。社会的問題となっている高齢者に対する詐欺事件に対応するため後見制度活用事例数を出す。又、事業所で支援する事が出来た最大限の利用者（介護給付111名、予防給付12名）を維持する事が出来たか年度末で確認を行う。これらの事により、社会貢献が出来たか反省を行う。出前講座を開催し、アンケートを実施する事で、参加者の必要な情報や困っている事などを把握し社会貢献の足がかりにする。

介護老人福祉施設 ロータス音更

専門職として、他職種と連携した、統一ケアを行い、また、ご家族との情報交換や日常の業務改善に努め、効率的に情報を伝達、共有し、迅速な対応を目指してまいります。

1. ライフスタイルに合わせた、サービスの提供

細かな情報収集により出来る限り入居者の希望に沿った活動を実施し、充実した生活を送っていただけるよう努める。

【指標・評価方法】

- ・ニーズや個人の能力に合わせた活動を行うため、在宅生活を送っていた頃の状況等について知る。
- ・家族との繋がりを深めるため、交流会の実施や日々の様子を手紙で伝える。

2. ケアの質を高め、スキル向上を目指す。

常に専門職としての目線に立ち、細やかな問題に対しても、解決へ取り組む姿勢を身に付ける。また、職員間での積極的な意見交換と、共に指摘し合える職場環境を作り出していく。

【指標・評価方法】

- ・施設内勉強会では、接遇や介護技術、新たなケアの考え方を中心に実施する。
- ・研修後は、実践と自己評価を行い、施設全体へ結果を周知する。
- ・定期的に行っている、家族参加の催し等を更に積極的に行い、家族との信頼関係を一層深めていく。

3. 事故防止

事故を起こさないという強い意識を持ち、入居者の変化に対応できる知識と技術を身に付ける。また、危険回避が困難な事例に対し、他職種との連携や他ユニットの対応を参考に、より多くの意見を取り入れ、事故への対策を行う。

【指標・評価方法】

- ・事故の統計を個人、ユニット、施設単位で作り、事故予防に役立てる。
- ・定期的なカンファレンスやヒヤリハットといった意見交換の機会を設け、口頭のみではなく、現場検証や様々な角度から事故を見直し、再発防止に努める。

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会 議	職員会議	3か月に1回実施(4月・7月・10月・1月) 4月・10月は委員会報告会 第1水曜日 18:30～
	ケアプランカンファレンス	毎週木曜日 11:00～
	連絡会議	毎月第4水曜日 10:00～
	リーダー会議	毎月第1木曜日 15:45～
	ユニット会議	ユニット毎月1回実施
勉強会	施設内勉強会	1か月に1回実施 第4火曜日 18:30 (全員参加の勉強会については1か月に2回実施)
懇談会	給食懇談会	毎月第3木曜日 15:00～
委員会	給食委員会	毎月第4木曜日 16:30～
	口腔機能向上委員会	毎月第4木曜日 16:00～
	事故防止対策委員会・身体拘束廃止委員会	毎月第4水曜日 15:30～
	感染症予防対策委員会	2か月に1回実施(4月・6月・8月・10月・12月・2月) ※必要時は随時、会議を開催 第2木曜日 15:45～
	褥瘡予防対策委員会・排泄委員会	2か月に1回実施(4月・6月・8月・10月・12月・2月) ※必要時は随時、会議を開催 第3火曜日 15:45～
	痰の吸引等安全対策委員会	6・9・12・3月 年4回開催
	研修委員会	毎月第4金曜日 15:30～

年間行事予定

月	実施日	行 事	内 容
5月	7日	お花見	桜を見ることで季節感を感じて頂く。
	19日	開設記念式典	開設記念をご家族を招いて祝う。
7月	28日	夏祭り	あんじゅ音更合同で実施。出店やイベントを催す。
9月	15日	敬老祝賀会	ご家族も参加し長寿を祝う。
10月	13日	運動会	ユニット同士の交流機会及び軽度の運動を含めたレクリエーション。
12月	25日	クリスマス会・忘年会	ユニット毎で企画を立て、親睦を図り1年の労をねぎらう。
	27日	餅つき大会	昔からの風習を大事にし、突き立ての餅を食べて新年を迎えて頂く。
2月	3日	節分行事	入居者による豆まきをし、1年の厄を払い健康に過ごして頂く。
3月	3日	桃の節句	ひな壇を飾り、お寿司を食べて楽しむ。

【備 考】

- ※「誕生会」各ユニットにて入居者の誕生日に合わせ個別で実施
- ※「個別外出」各ユニットにて動物園や外食行事など企画しながら随時実施
- ※「ユニット行事」年間予定し企画しながら随時実施
- ※「手芸クラブ」
- ※「書道クラブ」
- ※「喫茶」毎月第2・第4金曜日
- ※「床屋」毎月第1・2・4木曜日及び第4日曜日
- ※「避難訓練」年2回実施(あんじゅ音更と合同)

年間行事予算

(単位:円)

月	行事名	実施日	実施内容	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
5月	花見 開設記念式典	1~10日 19日	鈴蘭公園の桜を鑑賞し楽しむ あんじゅ音更と合同で実施	入所者食事代 1,000 × 80 人 往復乗車代 100 × 75 人 飾り付け材料代他 25,000	80,000	7,500 25,000	112,500
7月	夏祭り	28日	あんじゅ音更と合同で実施	入所者食事代 1,000 × 80 人 往復乗車代 100 × 75 人 飾り付け材料代他 240,000 ゲーム景品代 5,000	80,000 60,000	7,500 180,000 5,000	332,500
8月	焼肉行事	1~末日	ユニット毎に炭火で焼肉を楽しむ	入所者食事代 1,000 × 80 人 材料代(炭等) 20,000	80,000	20,000	100,000
9月	敬老祝賀会	15日	あんじゅ音更と合同で実施 敬老週間(作品展示等)	記念品代 400 × 80 人 往復乗車代 100 × 75 人 高齢者表彰者記念品 2,000 × 15 人 入所者食事代 1,000 × 80 人 飾り付け材料代他 25,000	32,000 80,000	7,500 30,000 25,000	174,500
10月	運動会	13日	リハビリを兼ねた交流	材料費代 15,000		15,000	15,000
11月	バイキング	1~15日	ユニットでバイキングを楽しむ	入所者食事代 500 × 80 人	40,000		40,000
12月	クリスマス・忘年会 餅つき大会	25日 28日	 杵と臼を使って参加、披露	飾り付け材料代他 20,000 プレゼント代 250 × 80 人 入所者食事代 1,000 × 80 人 もち米他 20,000 杵レンタル代 4,000	 80,000 20,000	20,000 20,000 4,000	144,000
1月	正月	31~1日	おせち料理で新年を祝う	入所者食事代 1,000 × 80 人	80,000		80,000
2月	節分	3日	豆まきを楽しむ	材料費代 10,000		20,000	20,000
3月	桃の節句	3日	行事食を楽しむ	入所者食事代 1,000 × 80 人	80,000		80,000
通年	誕生会 ユニット費 調理レク 園芸用品代		誕生日プレゼント 各ユニットにおける活動費 おやつレクを楽しむ 野菜を栽培し収穫を楽しむ	プレゼント代 1,200 × 75 人 行事・備品代等 5,000 × 4 × 12 ヶ月 材料費代 200 × 80 × 6 回 材料費代 30,000	96,000	90,000 240,000 30,000	456,000
小計					808,000	746,500	1,554,500
消費税					40,400	37,325	77,725
合計					848,400	783,825	1,632,225

ロータス音更(介護予防)通所介護事業所 ロータス音更(介護予防)認知症対応型通所介護事業所

デイサービス事業の目的のひとつである、利用者の在宅生活継続のための残存機能の維持・向上に努めます。

1. 残存機能の活用

利用者、家族から在宅での細かな情報収集に努め、日常生活動作を中心に機能維持・向上の観点に立った活動の提供に努める。

【指標・評価方法】

月2回の会議の場で定期的に利用者情報を共有し、個々のケアに過介助な部分が無いかアセスメント結果に基づき評価をし、日々のケアに繋げる。

2. 介護事故を防ぐ

ヒヤリハット等の小さな報告も含め、検討された事故対策等については、定期的に振り返る時間を作り、見直し、評価を行うことで、事故の再発に努める。

【指標・評価方法】

1ヶ月ごとに事故報告書内に記載される事故の対策について評価検討を行う。

〔標準型デイサービス〕

行事の充実

行事がマンネリズムに陥らないよう、出来るだけ利用者の希望を取り入れた外出行事等も企画していく。また、敬老会・クリスマス忘年会では、利用者と職員が一体となって楽しめる演出を考えていく。

【指標・評価方法】

行事終了後は利用者の感想・意見を聞き、利用者の参加意識を高めながら次の行事企画に反映できるよう努める。

〔認知症対応型デイサービス〕

認知症状に合わせた支援

利用者が安心感を持ち、穏やかに過ごして頂けるような環境作りに努める。

【指標・評価方法】

日々スタッフが関わった状況を介護記録・業務終了後に報告し情報の共有をする。会議の場でも定期的に関わり方について検討する。

年 間 会 議 予 定

月	会 議 予 定 (開 催 日)	対 象 職 員
通年	職員会議(4・7・10・1月)	全職員
	デイ会議、ケアプラン会議(月1回)	全職員
	ケースカンファレンス(月1回)	全職員

年 間 行 事 予 算

(単位:円)

月	行 事 名	実 施 内 容	費 用 内 訳	給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	外出行事	外出先を選択制にし小集団にて外出を行う。(十勝川温泉足湯、回転寿司、帯広駅エスタ)	飲食代など 5,000	5,000		5,000
5月	外出行事		飲食代など 5,000	5,000		5,000
6月	外出行事		飲食代など 5,000	5,000		5,000
	春の運動会	6月・11月に3日間ずつ運動会を開催。	製作材料費 20,000		20,000	20,000
7月	外出行事	4～6月の外出行事と同内容。	飲食代など 5,000	5,000		5,000
	夏の納涼祭	夏祭りレクリエーション、屋台(出店)を出店し、雰囲気を楽しむ。	飲食代 15,000	15,000		
8月	夏の納涼祭		製作材料費 20,000		20,000	35,000
9月	敬老週間 9月10日(火)～16日(月)	作品展示や職員余興、外部のボランティア余興の開催。	記念品 1,500 × 15 人		22,500	
			製作材料費 20,000		20,000	
			おやつ代 100 × 120 人	12,000		54,500
11月	秋の運動会	6月・11月に3日間ずつ運動会を開催。	製作材料費 20,000		20,000	20,000
12月	クリスマス忘年会	職員余興の開催。	プレゼント代 1,000 × 85 人		85,000	
			製作材料費 30,000		30,000	
	もちつき(1日限定)	利用者と餅つきを交え懐かしむ。	材料費(食材費) 3,000	3,000		118,000
1月	昼食行事	雰囲気の違い、昼食を楽しむ。	材料費(食材費) 500 × 50	25,000		25,000
2月	昼食行事	雰囲気の違い、昼食を楽しむ。	材料費(食材費) 500 × 50	25,000		
	節分(2月3日(月))	豆まきを行い1年の初めを祝う。	豆・備品代 3,000	3,000		28,000
3月	昼食行事	雰囲気の違い、昼食を楽しむ。	材料費(食材費) 500 × 50	25,000		
	ひな祭り(3月3日(月))	雰囲気を感じられるよう甘酒の提供等。	おやつ代 3,000	3,000		28,000
通年	レクリエーション製作材料費		5,000 × 12 ヶ月		60,000	
	誕生会(プレゼント代)		500 × 100 人		50,000	
	新聞代(利用者用)		道新・道新スポーツ購読料 5,962 × 12 ヶ月		71,544	
	本代(利用者用)		週刊誌代 1,350 × 12 ヶ月		16,200	
	園芸用品代		材料費 10,000		10,000	207,744
小 計				131,000	425,244	556,244
消 費 税				6,550	21,262	27,812
合 計				137,550	446,506	584,056

年間会議予定

月	会議予定 (開催日)	対象職員
通年	職員会議(4・7・10・1月)	全職員
	デイ会議、ケアプラン会議(月1回)	全職員
	ケースカンファレンス(月1回)	全職員

年間行事予算

(単位:円)

月	行事名	実施内容	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	外出行事	外出先を選択制にし小集団にて外出を行う。(十勝川温泉足湯、回転寿司、帯広駅エスタ)	飲食代など 3,000	3,000		3,000
5月	外出行事		飲食代など 3,000	3,000		3,000
6月	外出行事		飲食代など 3,000	3,000		3,000
	春の運動会	6月・11月に3日間ずつ運動会を開催。	製作材料費 10,000		10,000	10,000
7月	外出行事	4～6月の外出行事と同内容。	飲食代など 3,000	3,000		3,000
	夏の納涼祭	夏祭りレクリエーション、屋台(出店)を出店し、雰囲気を楽しむ。	飲食代 10,000	10,000		
8月	夏の納涼祭		製作材料費 15,000		15,000	25,000
9月	敬老週間 9月10日(火)～16日(月)	作品展示や職員余興、外部のボランティア余興の開催。	記念品 1,500 × 10人		15,000	
			製作材料費 10,000		10,000	
			おやつ代 100 × 72人	7,200		32,200
11月	秋の運動会	6月・11月に3日間ずつ運動会を開催。	製作材料費 10,000		10,000	10,000
12月	クリスマス忘年会	職員余興の開催。	プレゼント代 1,000 × 35人		35,000	
			製作材料費 10,000		10,000	
	もちつき (1日限定)	利用者と餅つきを交え懐かしむ。	材料費(食材費) 3,000	3,000		48,000
1月	昼食行事	雰囲気の違う、昼食を楽しむ。	材料費(食材費) 500 × 25	12,500		12,500
2月	昼食行事	雰囲気の違う、昼食を楽しむ。	材料費(食材費) 500 × 25	12,500		
	節分 (2月3日(月))	豆まきを行い1年の初めを祝う。	豆・備品代 2,000	2,000		14,500
3月	昼食行事	雰囲気の違う、昼食を楽しむ。	材料費(食材費) 500 × 25	12,500		
	ひな祭り (3月3日(月))	雰囲気を感じられるよう甘酒の提供等。	おやつ代 2,000	2,000		14,500
通年	レクリエーション製作材料費		3,000 × 12ヶ月		36,000	
	誕生会(プレゼント代)		500 × 35人		17,500	
	園芸用品代		材料費 5,000		5,000	
小計				73,700	163,500	237,200
消費税				3,685	8,175	11,860
合計				77,385	171,675	249,060

